



ジャスティス

JUSTICE

ジェイアール・イーストユニオン

発行責任者 菅野一位
編集責任者 瀬戸信作
〒105-0021
東京都港区東新橋2-8-28
TEL (J R) 057-7333
TEL (NTT) 03-6452-9687

基本理念 社員で考え社員のための労働運動を目指す、企業内労働組合
心とところをつなぐ相互扶助活動と、次代につなぐ社会正義の実現を目指す

ジェイアール・イーストユニオン 第 4 回 定期大会

安全で安心して働ける企業風土をめざし、
労働組合のあるべき姿を考え、変革に挑戦・達成しよう！



退職まで、あと一年、
この組合を少しでも盛り
上げたいとの思いを込め
て議長をします。



議長
藤井代議員 (新潟)

イーストユニオン中央本部は 7 月 9 日、東京の田町交通ビルにおいて、大会構成員、来賓、傍聴者を含む 60 名の出席で「第 4 回定期大会」を開催した。大会議長には、藤井代議員 (新潟) を選出しスムーズな議事運営がされた。JR 連合からは松岡会長を迎え、活発な討議により 9 名の代議員から質問・意見が出され、運動方針の補強がなされた。各議案と新役員の選出については満場一致で承認された。

・イーストユニオン結成の原点は、民主化闘争を継承するための人材確保。
・企業内労働組合として、組合員・社員として、社会的な信頼を得られる JR 労働運動に取り組みます。



中央執行委員長
菅野一位
(挨拶・要旨)

熊本大分地震では、最
大震度 7 を記録するなど
の大惨事となりました。
亡くなられた方々、被災
なされた方々へ、お悔や
みとお見舞いを申し上げ

ます。一刻も早い復興を
ご祈念いたします。
東日本大震災を経験し
多くの皆さんから受けた
恩返ししたいと考えてい
ます。
6 月 19 日、25 日の 1 週
間、連合が行った熊本ボ
ランティア団に、JR 連合・
イーストユニオンとして
仙台地本からエルダーの
鈴木さんと中執 (東京)
の高橋執行委員の 2 名が
参加しました。ありがと
うございました。
また、2 度にわたる熊
本地震カンパの取り組み
をお願いしました。一つ
は JR 連合から連合カンパ
を含めた取り組み。もう
一つは、単組独自の JR 九
州労組熊本地本のカン
パです。ご協力いただき
ました全地本全組合員の
皆さんに感謝申し上げます。
JR の各社の状況は、好
調な経営状況の中で、国
鉄世代から JR 世代への社
員層の世代交代は、ライ
フサイクルの考え方や技
術継承の問題を抱えてい
ます。
特に JR 東日本や JR 北海
道では、世代交代の陰に
労政問題を抱えています。

まず 1 点目は、最重要
課題の安全問題と技術継
承です。
一昨年から続く重大事
故は、この連鎖を断ち切
れない状況にあります。
一昨年から 3 月 15 日高崎
線籠原駅構内では、架線
設備不良からの漏電によ
り多大な設備損傷を発生
させ全線復旧まで 3 日間
掛かりました。6 月 6 日
には、常磐緩行線松戸一
北松戸間で作業用台車を
電車に衝突させる重大事
故を発生させ、関東運輸
局から JR 東日本に警告書
が発せられています。そ
の内容には、社員の不祥
事についても指摘されて
います。

私たちは、JR の将来に
憂いを残さないよう、職
場の中から「イースト・
イノベーション」で JR
東日本を変革させていき
たいと思います。





JR 東日本内の労働組合が共闘して、会社との交渉に臨むなど、究極的な安全議論の場の設定も考えていく必要があるかもしれません。

2つ目は、組織拡大と民主化闘争についてです。

第25回JR連合定期大会では、民主化闘争の原点を振り返り、改めて民主化闘争のあるべき姿で、運動の再構築を図ることが確認されました。民主



化闘争はJR労働組合への過激派革マル派からの介入を阻止し、そういった思想的な役員をJRの労働組合から排除し、安全で安心して働ける職場を創ること、その職場を維持・継承していくことが、最大の目的です。

イーストユニオンが結成された原点は、民主化闘争を引き継ぐための人材確保をすることが、イーストユニオンにいる私たちの役目であり、目的です。しかし、この2年間で組織を守っただけで終わりになっていないか、このイーストユニオンを継承させるための組織拡大が、絶対的な課題です。組織拡大のキーポイントは、JR東日本の将来を見据えて働く社員であり、真剣にJR東日本を考えている社員たちです。その社員たちへ私たちの思いを真剣に伝えること、その繰り返しを力強く実践することをお願いいたします。

3点目は、イーストユニオンの組織と運動づくりについてです。

なぜ当たり前と思いがながら、私たちの組合組織が躍進できなかったか。そのために「イースト・イノベーション2016〜2018」という課題提起の中で、私たちの運動の再構築を図っていきます。

組織の現状を考えれば、この大会で決意する2年間の重要性です。ですから、今イーストユニオンにいる組合員・役員の皆さんには、年齢に関係なく、エルダー職に関係なく、イーストユニオン運動づくりと継承に、最後まで熱く関わっていただきたいと思っています。

道半ばに満足感はないと思うし、残された後輩たち、継承する後輩への熱い思いをギリギリの最後まで伝えることを強くお願いします。

明日の参議院議員選挙です。まずは必ず投票に行ってください。比例区候補者（かわいたかのり）の必勝当選に向けて、ご

家族を含めた取り組みをお願いいたします。

最後になりますが、組織の存続をかけた天下分け目の大会と言っても過言ではありません。

イーストユニオンの大きな躍進と組織の確実な継承に向けて、一丸となつて皆さんと取り組む決意を申し上げ、中央本部執行部を代表してのご挨拶といたします。

JR連合

松岡会長



第4回定期大会おめでとうございます。結成大会以来2回目の参加です。熊本ボランティアの参加、ありがとうございます。明日の参議院選挙、JR連合推薦候補者の当選に

◆来賓

・松岡 JR連合会長
・松井 交運共済東日本事業本部長

◆祝電メッセージ

・JR北労組
・JR東海ユニオン
・JR西労組
・JR四国労組
・JR九州労組
・貨物鉄産労

向けて、最後の頑張りを願います。

JR連合の方針が、スローガン全体に明確に入っている。嬉しく感じます。

JR連合から民主化闘争の言葉が消えたのかとの問い合わせが一部から有ったが、そのようなことは無い。東日本、北海道、貨物の労政の問題をJR7単組がしっかり支えて行くので、JR JR東日本ではイーストユニオンの皆さんが、しっかりと民主化闘争を意識して闘ってほしい。JR連合は、政策集団として交運労協等で地方の交通政策の改善を提言している。問題は、大都市



では無く地方交通網であります。事業者のパイの奪い合いでは無く各事業者のベストミックスが出来るように声を出していく。三島貨物の問題、九州の株式上場が本行われるが安易に九州を切り離すことはできない。税制の継続要請を引き続き行っていく。在るべき労働ビジョンを2016年度、春闘に活かしていきたい。底上げ、底支え、JR連合としてグループ労組と連帯し働く者が報われる春闘を作っていきたい。

質疑・応答

佐藤 代議員 (仙台)



・福島県支部として、職場の枠を超えた人付き合いの幅を広げている。

・国労の郡山が組織拡大を果たしているイーストとして見習うことも大事。

・レクや学習会、まずは集まる事が大切。

・常に組織拡大を考えながら活動を意識している。

渡辺 代議員 (新潟)



・主務職の方を助役にする取り組みも必要ではないか。

・私も高齢であるが、イーストユニオンの必要性を理解している。この運動は愛社精神であり普通の常識を広める社会運動である。

ある。

・新潟の各職場では、昔は東労組の動員、現在は、会社のマイプロや業研で若い方々が疲れ切っている。助役は相談の役に立っていない。

・新潟は、今後の2年で本体から退職者、200名が予定されている。会社の対応が後手後手である。

菊地 代議員 (関東)



・組合費、加算金をやめる提案だが、活動の停滞に繋がらないように頼む。

・現場は、差別選別が感じられなくなってきたいるが、即、組織拡大には成っていない。組織拡大の要素は確実に拡大している。何とか結果を出したい。

神田 代議員 (新潟)



・熊本のボランティアに参加した鈴木さん、高橋さんに感謝している。

・我々は、崖っぷちである。200名以下だが民主化闘争の旗手としてJR連合は認めてくれた、左翼と極左は明確に識別しなければならぬ。

・JRは国民に愛される企業でなければならぬ、国鉄改革で受けた恩を仇で返してはならない。

中路 代議員 (仙台)



・組合費、一律に決めないで、色々の考え方や幅が有っても良いと思う。

・人付き合いは、個人の対応が主であるが組織としてサポートできる財政の裏付けも必要と思う。

中村 代議員 (関東)



・熊本ボランティアに参加した鈴木さん、高橋さんに感謝している。

・会社のボランティア制度、有るのに使っている方が居ない。使えない制度を使える制度にしてほしい。

・6/6、常磐線の衝突事故、川崎事故と同じである。会社も組合も何をやっていったのか。事故防止は掛け声だけか。

・正しく報告、言わなければ言わないで怒られる。言ったら言ったで怒られる。会社の安全文化は、これで育つか。

・安易に民進党を支援して良いのか。共産党だけが喜んでいるのではないか。

・組織拡大に向けて、組合費の安い点をアピールすべきだ。東労組は、組合費も高く物も言えないのが実態だ。



清水 代議員 (仙台)



・駅からJR社員が2、3年で居なくなる。サービスの低下に成らないように訴えている。

・仙台地区、駅の委託会社の社員構成の在り方、技術継承や色々の教育の在り方にマッチしていない。バランスが悪い。

・2016春闘、JR本体だけではない協力会社の賃上げへの言及は非常に良い取り組みである。

水間 代議員 (仙台)



・イーストユニオンとして春闘の考え方を分かりやすく出してほしい。

・仙台駅の出札委託延期について、現場の社員が



混乱しないように会社は真摯に社員へ向き合うべきである。

・組合費が安くなる事は良いことだが、活動費の今後が気に成る。仙台地本として組織拡大を果たしたい。

・参議院選挙、UAゼンセンの「かわいたかのり」候補の当選に向けて組合員、家族、親戚、知人に最後の声かけを行っている。

白居 代議員 (関東)



・7/1からエルダーに成った。JRの仕事が一番良かったと諸先輩が言っていた通りである。

・加算金の廃止で活動が停滞しないように頼む。

・イーストイノベーションのアピールを通じて組織のアピールを頼む。

中間答弁・各部

・イーストユニオンの情報は、JR連合のホームページから入って見てほしい。
 ・各地本の情報を全体で共有できるように各本や各支部分会の情報も本部へ情報の提供をしてほしい。

・組織拡大に近道は無い、色々やっているが拡大に繋がらないのが実態です。しかし、情勢は少しずつ変わっています。
 ・会社のダイバーシティ戦略、女性の進出、職場環境、社員の暮らし方、多様性が求められている。
 ・2017春闘、基本はJR連合方針に沿って取り組む。

・組合費加算金の廃止は組織財政検討委員会の答申である。組合員の心配は十分理解している。良

三名の組合表彰

鈴木雅明さん(新潟)

機関紙作成に尽力



・イーストユニオンのアピールは、イーストユニオンをメインに会社や他労組組合員に訴えて行く。
 ・人として、組合員として、社会人としての自己実現は、人間味溢れるものを目指していきたい。
 ・常識を感じられる付き合いでの絆を創ってほしい。

・組合費加算金の廃止は組織財政検討委員会の答申である。組合員の心配は十分理解している。良

総括答弁

国井事務局長

・組合費加算金の廃止は組織財政検討委員会の答申である。組合員の心配は十分理解している。良

鈴木信夫さん(仙台)

高橋佳昌さん(関東)



い悪いは組織拡大に繋がれるかである。良い結果が出るように全員で具体的に行動しよう。
 ・各組合の組合費の在り方についても、各人が納得できる組合費なのかを問題提起するのも大切である。
 ・イーストユニオンのメインは、安全と組織拡大、JRからの革マルの廃除。共に頑張ろう。

当選・御礼！

2016.7.10「かわいたかのり」UAゼンセン
 第24回参議院議員選挙(比例代表)



「かわいたかのり」候補が議席獲得！皆さまのご支援に感謝
 第24回参議院議員選挙でUAゼンセンが組織をあげて取り組み、JR連合とイーストユニオンが推薦してきました「かわいたかのり」候補(比例代表)が

19万6023票の得票で、民進党比例代表第5位で3年ぶりに見事議席を獲得しました。

かわい氏、から「全国でご支援いただいたすべての皆様に厚く御礼申し上げます。69年間つないできた議席を守ることができ、安堵感でいっぱいです。ご支援いただいた皆様の勝利です。皆様の思いを国会の場で反映するとともに、柳沢先輩がこれまで取り組んできた政策をしっかりと受け継ぎ、額に汗して働く者が報われる社会の実現のために頑張ります」と、感謝と決意を述べた。

平成28年度

新役員&中央委員

新役員

中央執行委員長
 ・菅野一位(仙台・再)
 中央執行副委員長
 ・秋山順一(関東・再)
 ・飯野浩(仙台・再)
 事務局長
 ・国井道徳(新潟・再)
 中央執行委員
 ・大橋俊明(仙台・再)
 ・三瓶信次(仙台・再)
 ・池田庄一(新潟・再)

退任役員

中央執行委員
 ・和知利昭(関東・前)
 ・高橋佳昌(関東・前)
 会計監査
 ・添田寿男(仙台・前)

中央委員(敬称略)

◆関東エリア地本3名
 ・白居繁
 ・中村明
 ◆仙台地本6名
 ・水間勉
 ・中路正則
 ・佐藤徹
 ◆新潟地本10名
 ・神田広栄
 ・瀬藤正樹
 ・高木義憲
 ・南雲春彦
 ・渡辺博幸
 ◆東北エリア地本3名
 ・白居繁
 ・中村明
 ◆仙台地本6名
 ・水間勉
 ・中路正則
 ・佐藤徹
 ◆新潟地本10名
 ・神田広栄
 ・瀬藤正樹
 ・高木義憲
 ・南雲春彦
 ・渡辺博幸